

作曲家のエピソードを交え、音楽の仕組みを分かりやすく解き明かす  
愉しく、学べるコンサート

高橋 舞トークコンサートはプロジェクターを使用した解説付きのコンサートです。  
第9回はヤナーチェクとショパンの作品の秘密に迫ります。

第9回 2014年4月30日（水）

ヤナーチェク：《草陰の小径にて》第1集より

「涙ながらに」「フクロウは飛び去らず！」

ヤナーチェク：ピアノ・ソナタ《1905年10月1日、街頭にて》

ショパン：ノクターン 第2番 変ホ長調 Op9-2

ショパン：ポロネーズ 第1番 嬰ハ短調 Op26-1

※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

高橋 舞 piano & talk

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。オーストリア国立モーツァルテウム音楽大学大学院修士課程ピアノ演奏科修了、「マギスター・デア・キュンステ」の称号を得る。バッハに関する修士論文は最高の評価を獲得。ウィーン国立音楽大学にてチェンバロをインゴマー・ライナー氏に師事。

ザルツブルク・スタインウェイ・ホールにてソロリサイタルを開催。イタリア、トリエステにおけるステファノ・マリッツァ国際ピアノコンクール第2位入賞。入賞者演奏会の模様はイタリアにてテレビ放映される。2006年のモーツァルト・イヤーにはザルツブルク・ゾリステンとモーツァルトのピアノ協奏曲第12番 K.414 を共演。ザルツブルクのミラベル宮殿マルモア・ザールにてイェルク・デームス氏と共演する。フロレンターノ・ロッソマンディ国際ピアノコンクール入賞。イタリア、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、クロアチアにおいて演奏会を行う。

銀座王子ホールでのピアノ・リサイタルを皮切りに、ソロ・室内楽・歌曲伴奏の分野で活動。王子ホールでのリサイタルは、「ムジカノーヴァ」、「音楽現代」にて好評を得る。

現在セミナー、レクチャー、コンサートを年間約50回開催。特にテーマを持ったレクチャー・コンサートに力を入れている。2011年から始まった「高橋舞トークコンサート・シリーズ」は、現在年2回のペースで開催している。2009年より桐朋教育研究所主催の桐朋講座講師。2013年より代官山ヒルサイドテラスにて開催されている「MAIクラシックセミナー」講師。2014年5月にセミナーの一環として「高橋舞と巡るヨーロッパ6泊8日の旅」を実施予定。2013年にはアメリカ、サン・ノゼで開催されたピアノ・マスター・クラスにて指導した。

幅広い知識を活かして「豊かなクラシック音楽」の世界を発信する、今注目のピアニスト。

公式サイト <http://mai-takahashi.com/>



第10回は2014年11月を予定しています